

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

ヘルパンギーナ・手足口病に注意しましょう！

今年は例年よりヘルパンギーナと手足口病の増加時期が早くなっています。
 どちらも夏場に流行する感染症で、これからさらに増加する可能性がありますので注意が必要です。

【ヘルパンギーナ】

潜伏期間：2～5日

症状：発熱(38度以上、時には39度～40度近い高熱を発症するケースも)、口腔内の口内炎や水疱、咽頭炎

【手足口病】

潜伏期間：3～5日

症状：手や足や口の中にかゆみや痛みを伴わない水疱性発疹

どちらの病気も、ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかり行いましょう。

【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。

期 間		第21週		第22週	
		5/19～5/25		5/26～6/1	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↓	13	0.52	2	0.08
RSウイルス感染症	→	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	→	12	0.75	12	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	39	2.44	44	2.75
感染性胃腸炎	↓	117	7.31	77	4.81
水痘(みずぼうそう)	↗	9	0.56	11	0.69
手足口病	↓	26	1.63	18	1.13
伝染性紅斑(りんご病)	→	1	0.06	0	0.00
突発性発疹	→	11	0.69	12	0.75
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	↗	29	1.81	37	2.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	11	0.69	3	0.19
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑	7	1.40	11	2.20
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗	4	0.80	5	1.00